

こんにちは

庄内町議会

です



No.68
12月議会号
3.1.15



狩川幼稚園

明日は
おたのしみ会

関連記事 P.18

- ◆ コロナ禍対策……………〈補正予算〉 P. 2
- ◆ 選挙の一部が公費で……………〈議案〉 P. 3
- ◆ 町民の幸福をめざし……………〈一般質問〉 P. 4
- ◆ どうする商工振興策……………〈町民と語る会〉 P.11
- ◆ 町内外を視察……………〈委員会中間報告〉 P.12
- ◆ 中学生真剣に聴く……………〈議会傍聴〉 P.14

補正のポイント

12月
定例会

会期

12月8日(火)から
15日(火)まで

各会計補正予算

3件

条例制定

10件

条例設定

1件

事件案件

1件

契約案件

1件

発議

1件

以上

17件

すべて原案
どおり可決



町民の健康のために

**庄内町温水プール
緊急経営改善支援金
300万円**

「コロナ禍で利用者が減少した「アクア庄内」を支援します。

令和2年度の一般会計補正予算は、収入支出それぞれ3583万円が追加されました。主な補正の内容は、新型コロナウイルス対策としての商工振興費の1193万円等です。

賛成全員で可決



好きです庄内町

**地域おこし協力隊定着支援補助金
20万円**

任期終了後も本町を拠点に活動する人を支援します。

**庄内町中小企業
緊急災害等対策
利子補給金の
追加
1191万円**

新型コロナウイルス
又感染対応地方創生
臨時交付金事業で、
中小企業者を対象と
した無利子の融資制
度です。

**庄内町住環境向上
及び住宅・木材産
業活性化緊急促進
事業補助金
600万円**

県産木材の利用促進
及び新型コロナウイルス
又感染症の影響
を受け、低下が懸念
される住宅投資意欲
を喚起し、町内にお
ける住宅の建設工事
による地域経済の活
性化を図るものです。

議案

町議会議員選挙

選挙費用の一部が公費負担に

庄内町議会議員及び庄内町長の選挙における 選挙運動の公営に関する条例の設定



ポスターはけっこう高い

選挙用自動車（選挙運動期間中1台のみ）

- ・ 一般常用旅客自動車運送業者との契約の場合（ハイヤー方式）は、一日の上限額が6万4500円
- ・ 借入契約の場合（レンタル方式）は、一日の上限額が1万5800円
- （1）燃料代として、一日の上限額が7560円
- （2）運転手雇用の報酬額は、一日の上限額が1万2500円（一人の運転手に限る）

選挙運動用ポスター

- ・ ポスター掲示場の数で、上限額は概ね35万4000円

選挙運動用ビラ

- ・ 町長選挙は5000枚以下で、上限額は3万7550円
- ・ 町議会議員選挙は1600枚以下で、上限額は1万2016円

コンビニで印鑑登録証明書の取得

庄内町印鑑条例の一部を 改正する条例の制定

令和3年2月1日から、店内のマルチコピー機で、マイナンバーカードを使用して印鑑登録証明書が取得できます。

契約案件

工事名

道路メンテナンス事業（補助）きょうりょう 橋梁長寿命化修繕計画に係る橋梁補修工事（新田橋）請負契約の一部変更。内容として床版補修工事等です。

変更前 7810万円（税込み）
変更後 9061万円（税込み）



まもなく完成します

臨時会 期末手当引き下げ

11月30日に議会臨時会を開き、令和2年度一般会計補正予算、町の一般職と特別職の給与条例改正など7議案を原案通り可決しました。

主な補正の内容としては、本町職員と常勤の特別職、議員の期末手当の改定、退職者等の人件費の整理によるもので、財政調整基金積立金1405万円の追加により調整し、補正額は0円となりました。

給与条例改正は、県人事委員会勧告を踏まえてのもので、職員は期末手当が0・05カ月、特別職は実質0・049カ月引き下げとなりました。

町民の幸福をめざし

町政を問う



役場職員もがんばっています

一般質問

12月10日
11日

11人が登壇

質問全項目(質問順)

● 印を掲載しています
全質問・議細は議会ホームページ



庄内町議会 HP

- 石川 保議員
 - 認定こども園移行に係る対応について…………… P 5
 - 学校施設長寿命化対策について…………… P 5
- 國分 浩実議員
 - 新武道館について…………… P 5
 - ふれあいひまわり広場について…………… P 5
- 小林 清悟議員
 - コロナ対応に伴う町財政について…………… P 6
- 鎌田 準一議員
 - コミュニティセンター化について…………… P 6
 - 議員選挙について…………… P 6
- 工藤 範子議員
 - 都市計画税について…………… P 7
 - 排水対策について…………… P 7
 - 就学援助制度について…………… P 7
 - コロナ禍の影響について…………… P 7
- 上野 幸美議員
 - 子宮頸がん予防ワクチン (HPVワクチン) について…………… P 7
- 小さな拠点事業について…………… P 8
- 澁谷 勇悦議員
 - 庄内町ゼロカーボンシティ宣言について…………… P 8
- 阿部 利勝議員
 - 公職選挙法について…………… P 8
- 加藤 将展議員
 - 清川・立谷沢公民館のコミセン化、指定管理者制度の導入について…………… P 9
 - 町営バスの交通経路の見直しや新しい交通手段の検討について…………… P 9
- 齋藤 秀紀議員
 - 農業振興について…………… P 9
 - 用水路の安全対策について…………… P 9
- 小野 一晴議員
 - 役場新庁舎の活用について…………… P 10
 - 武道館改築について…………… P 10
 - 学校施設長寿命化について…………… P 10

**子育て支援策
教育環境**

将来展望をまとめよ

町長 百年の大計 慎重に考える



石川 保 議員

問 立川地域では、令和4年度にも、幼保連携型認定こども園への移行が予定されている。

民設民営のため、保育教諭の確保や3歳児の取り扱い、保育料、受け入れ地域等、万全な準備が必要である。どう対応するのか。

町長 新しい認定こども園では二十数名の保育教諭が必要。不足する人員は、令和3年度に法人で募集していただくことになる。

3歳児の入園の選択



子どもたちは地域の宝

は、認定こども園一体になった場合も現在と同様に学区にとらわれず受け入れができる。また、保育料については、町の基準によって定められている。減免も同様。

問 一方、余目地域では幼稚園を含む施設の長寿命化計画、学区のあり方、地域との関わりも課題となっている。

各種計画を基に、子育て支援策、活力ある教育環境の将来展望をまとめるべきと思うが、いかがか。

町長 学校、教育は一番重要な事業になる。子どもたちの環境、また、社会教育という町の魅力に大きく関わることを含めて、慎重に考えたい。

**新武道館
建設**

武道館機能に絞るべき

教育長 メインは武道館 調整で対応可能



國分 浩実 議員

問 新武道館の建設については、平成30年11月に整備計画案が「複合型屋内運動場」として出されている。新図書館整備と重なり、具体的動きはまだ無いとしているが、今後、整備計画案のとおり「複合型」とした場合、現在利用している武道団体が十分に活用できるのか。また、「複合型」とせず、武道館機能に絞った整備計画にすべきと思うがどうか。

したが、メインはあくまで武道館なので、現在の武道関係団体の利用は支障ないものと考えている。武道関係団体以外の利用については、関係者の皆さんなどに意見をいただいた。利用時間帯などを調整することと対応可能と思っている。

問 建設場所については余中生の

教育長 複合型という名称でスタート



着替える時間もない

部活を考慮し、現在地付近とすべきだがどう考えているか。

教育長 町内のスポーツ施設全体のバランスを考え、八幡スポーツ公園への集約を考えている。中学校から遠くなるが移動できない範囲ではない。なお、ご意見も踏まえ検討させていただきます。

コロナ禍対応の町財政

財政の健全化に力を入れよ

町長 予算はゼロベースで積み上げている



小林 清悟 議員

問

新型コロナウイルス感染症の対策費や地域経済への影響などから町の財政負担、今後の税収減の懸念などから町の財政状況の悪化が予想される。町では、令和元年度に、財政の健全化に向けて、施設利用料の見直しやコンビニ収納システムの構築、合併以降最高額となる利子および配当金の運用や業務改善甲子園の開催など、様々な対応や努力を行っているが、財政の健全化に向けた今後の取り組みが

ます重要になる。町の考えはどうか。

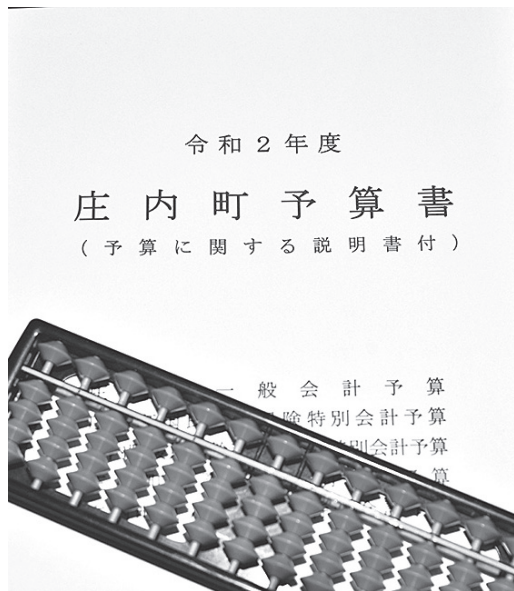
町長

合併特措置が今年度で終了になり、本町の財源の4割を占める地方交付税に大きな影響を与えることになる。

来年度の予算編成にあたり依命通知を发出しているが、重要度、緊急度を考え、ゼロベースで積み上げしている。

懸念している過疎債については、ゼロにはならないと聞いており一安心している。

なお、国や県の補助金以外に民間や財団等の補助・支援事業を見つけていくとともに、ふるさと応援寄付金については、本町の魅力を発信し拡充を図りたい。



どうする町の財政

コミセン化

交付金措置見直せ

町長 財源など町が一定担保する



鎌田 準一 議員

問

コミセン化に向け集落支援員制度を導入したいとあるが、その決定方法や要件、報酬と財源及び役割はどうか。

町長

集落支援員は、令和4年度からのコミュニケーションセンター化として指定管理制度の導入を進めるにあたり、地域内運営組織の形成やスムーズな移行などを支援するために導入する。採用方法は地域の推薦を優先しながら公募を考えている。また、活動に対する協力謝礼を考え

ており、かかる経費は、特別交付税措置される。

問

町との協定で対等な立場で住民主体の小さな行政組織を運営することになるが、自由度の高い地域づくりを期待する。一方、主な財源となる交付金措置等の考え方が変わっていない。集落・地区課題解決の力は発想の転換、解決

のための財源確保である。現行の地域づくり関連交付金を見直すか、新たな考え方が必要ではないか。

町長

課題解決においては、自分たちで考え、実行できることを含め、財源などについては、町が一定担保をしながら力をつけてもらいたい。



勉強が楽しいよ あまらめ夢サポート塾

※ 関連交付金：住みやすい地域づくり活動交付金。

※納税者：都市計画税の対象者をいい、3,939人（令和元年決算資料）である。

都市計画税

税と負担金の二重負担は妥当か

町長 都市計画税将来に向けて検討したい



工藤 範子 議員

問

都市計画税は、都市計画事業に充てる目的税である。町は公共下水道事業に係る地方債償還（借金）に充当している。合併した自治体は不正が生じること

で、税を廃止している。合併後、都市計画街路事業の進捗もなく、審議会も開催されていない。都市計画法には「著しく利益を受ける者」とあるが、納税者は利益を受けているのか。納税者に対し、都市計画税と下水道受益者



税はまちづくりに

負担金の二重負担は妥当か。将来の事業のためとはいえ納得できない。

町長

都市計画事業は長く休止状態

であることを理解しながらも、税の制度というところで、都市計画区域内での将来の仕事に向けて、また、過去の下水道事業費の償還のための目的を持った税であることをご理解いただきたい。

ただきたい。

都市計画事業を実行するにはタイミングが必要。道路の場合は立ち退きなどしていた

必要。道路の場合は立ち退きなどしていた

状況も変化してきているので、改めて計画を見直し、将来に向けて都市計画税をどのようにできるか検討していきたい。

HPV ワクチン

個別通知 早急にせよ

町長 まずは高1年生に通知する



上野 幸美 議員

問

HPVワクチンの定期接種

は、現在厚労省で積極的勧奨の差し控え状況にある。しかし産婦人科学会・小児科学会等・WHOでは、早期HPVワクチン接種勧奨の再開を求め、警告をしている。令和2年10月9日厚労省は、都道府県に定期接種であるHPVワクチンの接種対象者等への周知、具体的対応策を行えるよう通知している。それを受け市町村は動き、鶴岡市はすでに個別通知を実施

した。本町も早急に対応すべきであるがどうか。

町長

子宮頸がんワクチンの定期接種は、平成25年度から開始となったが、副反応が問題となり、積極的勧奨を差し控えてきた。しかし、多くの先進国では積極的に取り組んでおり、一般国のワクチンの副反応について審議する各会議に

おいて情報提供の方針が了承された。これを受け、定期接種としての子宮頸がんワクチンを知っていた

だき、自ら身を守る選択肢となるよう、個別に通知を発送する準備をしている。まずは高校1年生に送る予定である。



HPVワクチンは大丈夫か

※ HPV ワクチン：ヒトパピローマウイルス感染症のことで、子宮頸がん等、多くの病気の発生に関わっている。
※ WHO：世界保健機関、健康状態を向上させるための国際協力組織。

※ **ゼロカーボンシティ**：二酸化炭素排出量ゼロを目指す地方公共団体。

ゼロカーボン シティ宣言

実施施策を周知せよ

町長 ゼロカーボン施策を展開する



澁谷 勇悦 議員

問

町は「ゼロカーボンシティ宣言」を全国の町単位では44番目。県内市町村では6番目に行った。全世界、全人類の持続性には必要不可欠な施策の一つであり、町ではこれまでも「再生可能エネルギー・省エネルギー」などの施策への積極的な取り組みが認められる。しかし、ゼロカーボンの実現は困難も予想される。

実現に必要なとされる施策を明らかにし、町民に周知徹底し、そ

の実現を目指すべきでないか。

町長

本町は風力発電発祥の町であり、日本の行政では第一番目に実現した。また、農山漁村再生可能エネルギー基本計画を立ち上げ、新たに13基の稼働を予定し、庄内町全戸の3倍くらいの発電量を可能としている。一方、本町の特徴であるガス事業では、

化石燃料の中でもCO₂が最も少ない天然ガスを使っている。

庄内町としては、環境省のマニュアルに基づき、温室効果ガスの割合が大きい二酸化炭素排出の抑制に向けた施策を打つていこうと考えている。



ゼロカーボンシティのシンボル

改正公職 選挙法

周知方法はどうか

選管長 広報紙等や職員の説明で対応する



阿部 利勝 議員

問

公職選挙法の一部改正に伴い、来年の町長選挙及び町議会議員補欠選挙の際、選挙運動用自動車とポスター、ビラが公費負担となる。選挙用自動車はスニーカーやアンブも必要となるが、どこまでが公費負担となるのか。

選挙用自動車の取り扱いについては、規定のとおり、あくまで自動車本体の借り入れと保険料が公営の対象となる。付帯設備については規定さ

れていないので、対象にならないと考える。

問

今後の周知方法についてだが、他の自治体では、「公職選挙法・よくある質問と答え」といったように、わかりやすく記載したホームページもあるが、本町ではどのように考えているか。

選管長

選挙の仕組みや公職選挙法が

よく分からない場合は、本町のホームページに「選挙運動と政治活動」という記事を出している。公職選挙法改正の件については、

記事掲載を予定している。一方、非常にわかりやすい本も出ている。直接、担当職員も説明をする。



公費で負担軽減

※ **選管長**：選挙管理委員会委員長の略称。

清川・立谷沢出張所



加藤 将展 議員

廃止などを見直すべき

町長 機能維持のやり方を考えている

で、住民の意向を尊重し、住民自治に任せるべきではないか。

町長

公民館は、指定管理制度を導入すること

を町のガイドラインに定めている施設であり、令和4年度にコミュニティセンターへ移行するこの機会に行いたい。

出張所については、機能を維持できるようなやり方を考えている。

形は変わってもサービスが低下することが無いようにしたい。少子高齢化が進み、地域を心配される気持ちには十二分、わかるので、その心配あるいは不安といったものをどのように払しょくできるか今後考えていく1年になると思っています。

ただし、酒田市、遊佐町のコミセンは指定管理ではない。また、清川・立谷沢地区は人口減少と高齢化で指定管理の組織づくりは難しく、出張所の廃止は不便極まりない。これが町長が進める拠点づくりか。コミセンの指定管理、出張所の廃止は再考すべき



出張所がなくなると困る

用水路の安全



齋藤 秀紀 議員

事故例はある 注意せよ

町長 危険箇所は放置しないが大前提

町長

通水路の安全対策について

は、年度初めに学校から連絡を受け、学校、教育委員会、道路管理者、警察と合同点検を行っている。また、用水路に関するところは

最上川土地改良区からも参加いただくなど、危険箇所については関係機関と連携して対策を講じている。

責任については、どのような要因であったのか確かな証拠がないと判断できない。まずは、危険箇所はそのままにしないことが大前提と考える。

問

近年、用水路での子供の事故が全国である。用水路は、最上川土地改良区の施設であるが、安全面では町になるのではないか。通路上の危険箇所や高齢者にはやさしくない場所等はどうか。

例えば、用水路への転落事故があった場合を想定すると責任は、町なのか、施設管理者なのか、どうか。今後、町でしなければならぬ対策はどうか。



子どもにはケン

新武道館建設

学校体育館の活用を十分検討せよ

教育長 学校体育館使用は厳しい



小野 一晴 議員

問 武道館の代替案として、小学校休業日の体育館や中学校の体育館の活用は十分に検討したのか。

教育長 日曜日の小学校体育館の利用については、剣道関係者への問い合わせなどは行っていない。中学校剣道部は、最初から武道館ありきで使用しているの、中学校体育館に入れていくのは厳しい。

問 改築が必要だとしても、今後、各学校の長寿命化事業のため231億円以上

の概算事業費が見込まれる中、根拠の曖昧な複合施設ではなく、本来の目的である武道館に絞り事業費を圧縮するべきではないか。

教育長 武道は普通のスポーツと一線を画すものであるが、せっかくの公の建物であるので効率よく使った方がよいと考えている。

問 改築場所は、余中剣道部の利便性を考え、現在の場所にすべきでないか。

教育長 中学校の部活は将来的に社会体育に移ると思う。その受け皿は総合型スポーツクラブと思われる。その場合、総合運動公園でやるべきと思う。



武道館はこの場所で

庄内町議会定例会 (3月)のご案内

予定期日 3月2日(火)～17日(水)
主な内容 令和3年度予算の審議

ぜひ傍聴においでください

インターネット 中継

庄内町議会のホームページからアクセスできます。

マスク着用
厳守

1 庄内町議会で検索



2 トップページ画像下の



をクリック

3 スマートフォンなら



の「ライブ」ボタンをクリックするなど。

- ★ 立川総合支所、各地区公民館、図書館ロビーでも議会中継をご覧になれます。
- ★ 会議後1週間程度で、録画配信をしています。
- ★ スマートフォン、タブレットなどでも議会中継、録画映像を視聴できます。



※議場への昇降が困難な方は、エレベータをご利用できます。なお、介助が必要な方は、議会事務局(TEL 0234-42-0189)へお申し出ください。

検温、手指消毒、マスク着用のコロナ対策にご協力下さい。発熱など、体調不良の方はご考慮ください。



町民と語る会



コロナ禍における商工振興策

産業建設常任委員会と商工会との語る会を開催しました。
テーマである、コロナ禍における商工振興策、議員なり手不足解消具
現化特別委員会について、率直な意見交換を行いました。

商業部会からの要望等 (抜粋)

- 飲食店のコロナ対策では、改装費等の補助、支援も欲しい。

- 一時的に広告チラシ等が減少したが回復傾向にある。

- もりもり券は来年度も継続して欲しい。

- 持続化交付金は効果があった。

- 支援メニューの説明が十分でなく、売り上げ対策に活用できない。詳細な説明が必要ではないか。

工業部会からの要望等 (抜粋)

- 持ち家住宅建設祝い金が6%になったが8%に戻せないか。

- 来年度もプレミアム付き商品券の事業実施をして欲しい。

- コロナ対策関連事業費とは別に、道路工事等の公共事業費予算確保も欲しい。

議員なり手不足解消等 について (抜粋)

- 議員個人の町政報告会などを実施していかないのではないか。何をやるのか、やりたいのが見えて来ない。なり手不足に繋がっていないか。

現況について

商工会会長

第3波が大きいと予想されている。地方への影響も懸念され町の支援体制を要望したい。

厳しい状況のなか、ゆりカード、もりもり券やサービス券等の支援で飲食店に賑わいが戻ったが売上金の入金確定に時間がかかった。

もりもり券等の支援は継続するよう要請したい。

本年実施分

| 団体名 | 実施月日 | テーマ |
|-----------|-----------|-------------------------------------------------------------------|
| 立川地区自治会長会 | R2年11月2日 | ●立川庁舎活用の進捗状況 ●街路灯・ゴミステーション設置 ●農業振興策・鳥獣被害対策等 |
| 清川地区振興協議会 | R2年11月17日 | ●清河歴史公園整備における新たな展開に向けて ●公民館のコミセン化における議会の考え方について ●御殿林散策路の整備について |
| 商工会 | R2年11月24日 | ●コロナ禍後の商工振興策 ●議員なり手不足解消具現化特別委員会について |

中間報告まとまる

総務文教厚生
常任委員会

テーマ：障害福祉について

目的：令和3年3月に第6期庄内町障がい福祉計画と第2期庄内町障がい児福祉計画が策定されます。本町の掲げる障害のある方もない方も、高齢になってもすべての町民が住み慣れた地域で安心して暮らしているよう、調査することとしました。
※詳細は議会ホームページより閲覧できます

現況 本町における障がいの者の総数は、令和2年3月31日現在で1,412人。内訳は身体障害者手帳所持者が1,069人、療育手帳所持者が192人、精神障害者保健福祉手帳所持者が151人となっています。

課題

- (1) 生活介護事業所について
- (2) 広域連携について
- (3) 相談支援体制について



気がるにお風呂に入れます

障がい児を抱える母親同士で悩み事を相談し合っている際に、重症心身障がい者（児）の生活介護事業所が身近にないことが話題となり「なかつたら自分たちで作ればいい」と、障がい児をもつ保護者

が中心となり「特定非営利活動法人ぽけっとぴーす」を設立し、国・県、西村山市の1市4町から補助を受け、寒河江市から借り受けた旧保育所を改装して、令和2年4月1日に開設しました。

● ぽけっとぴーすの森

障害児（者）通所支援事業所
なかつたら自分たちでつくればいい

視察地 寒河江市
ぽけっとぴーすの森・わくわくぼ共生園



ステキな作品 見て下さい。

30年間にわたって障がい者の支援をしてきた「さくらんぼ共生園」では、障がいに合わせて、ゆっくり、のんびり楽しく創作活動し、出来上がった陶器や織物、絵画等を、利用者の感受性を生かした作

● さくらんぼ共生園

生活介護・就労継続支援B型・日中一時支援
自治会のある施設

品として販売していただきます。
また、この施設の特徴的なこととして、通所者による自治会組織が機能し、自治会規約により運営されています。

常任委員会調査



水の流りがきれい 北楯大堰

産業建設 常任委員会

テーマ：清川・立谷沢周辺の魅力再発見について

目的：観光資源となりうる魅力を再発見し地域の観光振興施策に資するために調査しました。

※詳細は議会ホームページより閲覧できます

知ってる、知られていない魅力と課題

歴史の里清川

● 清河八郎記念館

魅力 明治維新の魁としての人物像。

課題 展示室の室温管理や施設の老朽化、歴史資料の解説。

● 清川歴史公園

魅力 荘内藩清川関所跡復元。芭蕉、義経、弁慶上陸の地。

課題 観光ルート立ち寄り拠点としての確立。関連施設との連携、及び景観整備。

● 御殿林

魅力 荘内藩主の参勤交代時の宿泊所跡、戊辰戦争の跡地。

課題 敷地内の散策路等の整備、歴史公園との連携。

● 北楯大堰

魅力 大堰開発に至る歴史と功績。世界かんがい施設遺産に登録。

課題 情報発信及び側道を活用した誘客事業の展開。

羽黒古道と殿様街道

● 羽黒古道と皇野

魅力 羽黒山創建の地。蜂子皇子修行と宿坊の地、銅鏡出土の鏡池、整然静寂な杉林。

課題 魅力の発信。

● 殿様街道と古口

魅力 立谷沢の板敷と古口を結び、殿様が参勤交代で利用。ブナ美林。

課題 山道の整備等。

池沼・自然資源

● 長者沼

魅力 昭和天皇行幸の地。

課題 出目ブナ、浮鳥の確認と看板の設置

● 大谷地湿原

魅力 県内随一の低山地湿原。水芭蕉の生地（5月頃）。

課題 入り口から現地までの山道整備。

● 大池

魅力 ジュンサイが豊富に生息している。

課題 入り口から大池までの林道と移動手段の整備。

● 砂金・化石採掘地

魅力 砂金は全国的に希少価値。自然形成のうえで地質学的に貴重。

課題 保全と地域観光資源の両立。



ジュンサイを名物に 大池

記 験 体 験 傍 聴 の (抜粋)

と 学 習 に 伴 う 見 学)

12月定例会の傍聴者は合計162人でした。12月10日、11日には余目中学校2年生145人(引率13人)がふるさと学習に伴う見学として傍聴しました。その様子は品行方正、立派なものでした。その将来に期待が持てます。議会傍聴アンケートより、中学生たちの意見を一部紹介します。※ほぼ原文

よかった

- ・小学校や武道館などどのように話し合っているかが知れて良かった。
- ・これからどんな動きをしていくのかや、より良い町をつくるためにどんな事をしていくのかが良くわかりました。
- ・長い質問の内容に対しても、適切な回答をしていて良かったです。
- ・目上の人に対してのあいさつや言葉づかい、礼がとても良く、これから日常で生かしたいと思いました。
- ・時計がデジタルで大きかったので見やすい。

わかった

- ・活気があり大変話しやすそうな議会で安心。
- ・感染対策をしっかりとっていてよかった。
- ・二酸化炭素について話し合っているのが良い。
- ・議会の話し合いのおかげで町が進化しているのがよかった。
- ・町について改めて考えることができてよかったです。
- ・会議場がきれいで程良い明るさだったので、長時間議会しても大丈夫そうだなと思いました。
- ・庄内町は、議会によつて、より良い町になっていることがわかった。
- ・議会の内容は良くわかったが、どちらがわの意見もさんせいできることや反対したいところがあつた。
- ・とてもわかりやすく

おもしろかった

- ・内容がすらすら入ってきた。
- ・町のために良い町にしようとするのが頑張っているのがよかった。
- ・庄内町の環境が良くなるには、あのようなことを話し合つて町を大切にしていくということがわかりました。
- ・具体的な数が出ていて分かりやすかつた。
- ・国会とは違い、真面目に議員の方々が答弁しているのを見て、すごいなと思つたし、建設するまでの過程がわかりました。
- ・質問する方と答える人の言葉のキャッチボールがおもしろかつた。
- ・ネット中継をするところが意外で面白い。内容は個人的にもおもしろかつた。

おどろいた

- ・すぐ手が挙がついてすごかつたです。
- ・一つのことに対して、思ったよりも時間がかけてあつておどろきました。丁寧に考えられてあるんだなと思うことができました。
- ・町の問題にしっかりと取り組んでいる議員はすごいと思つました。
- ・議員側の質問がこまかい事まで明確にして、あやふやにしないのがすごい。
- ・普通の会話では出てこない「何億円」という言葉が出てきていて、さすが「議会」という感じがしました。
- ・沈黙の時間が全くなくて少しびっくり。
- ・一人一人の席にマイクがあつてすごかつた。
- ・話す人の方にカメラが向いたり、フェイスシールドがついていたり、設備が素晴らしい。
- ・町長が紙を見ずに話していたのがすごい。



新しい議場で少し緊張ぞみ

Excellent!

中学2年生

(余目中学校ふる)

定例会は毎年4回(3月・6月・9月・12月)開催されます。議場の緊張感や議員と町当局のやりとりの真剣さなど、インターネット中継では感じとれないことが体験できます。

町政への参加のはじめとして、子どもたちの学習にも役立ちます。ぜひこれからも傍聴においでください。

・行くいどう時間が長くなつて部活をおこなう時間が短くなつてしまう。
・武道館の話し合いに

武道館



議会は勉強になる

ついて、剣道部の人たちは練習時間が少ないのに、保育園の跡地に建ててしまうと10分程度800mかかってしまうと練習時間がなくなつて

・足を組んだりしている方がいたので気になりました。真剣な態度で臨んでほしい。
・議員の聞く態度などが一部悪かった。
・答弁する人はマスクをはずさないのに質問する人がずっとマスクをはずしているのはなぜですか。
・理解はしやすかったが聞きとれない部分もあった。
・中学生の意見を聞いてほしい。

その他

・しまう。武道館のグランド側に設置してほしい。
・剣道部の練習時間を考えてほしい。
・武道館を利用する人にも直接聞いてどこに新しく作るのかを考えてほしい。
・僕は空手をしていて、たまにいくことがあるのですが、ちよつとせまい(広さ・高さ)と思う。

・寝ている議員の方もいたので、ゆるいんだなと思いました。
・女性の議員の方もいましたが、少なかつたので増えてほしいなと思います。
・議会の質問がすごく難しかったです。
・質問を適かくに短くした方がよいと思つた。
・新しくできた「飛龍」はどこか屋内、または役場の玄関に置いてほしい。
・話している内容で「を」をしています。」ということがあまり広く知られていないので、もっと広めていきたいらいい。
・中学生では難しい話もあった。
・質問する側はもっと淡々と質問した方が、答える方も答えやすいと思うし、聞く方も聞きやすいと思う。
・議会みたいになねをして、いけんをいっぱい言つて、みならえるように頑張りたいです。

担当の先生よりお礼の言葉

新型コロナウイルスの感染が心配される中で、さまざまな予防対策を取っていただき、本当にありがとうございました。

今後ふるさと学習として、庄内町の良さや課題を考え、今私たちにできることは何かを考えていきたいと思っています。

・自分想像していた額より大きなお金が動いていた。
・これからもこのような話し合いを頑張つていってほしい。
・テレビのニュースみたいだった。すごいいきおいで質問してた!!

庄内町総合計画基本計画 審査特別委員会を設置

庄内町第2次総合計画は、町の進むべき方向性を10年単位で示したもので、平成28年度に策定されました。

来年度は策定6年目となり、町から後期の5年間に對する基本計画(案)が12月定例会に上程されました。時代に合わせ新規に追加された項目、また変更された項目もあり、チェックが必要となります。平成28年からの5年間で主要施策の達成度などの調査も含め、審査特別委員会を立ち上げ、町民にとってより良い計画となるよう審査します。

後期基本計画

- 第1章 健やかでやさしい健康・福祉のまち
- 第2章 よりよい生き方を求め、ともに学び合う教育のまち
- 第3章 美しく安全・安心な生活環境のまち
- 第4章 豊かで活力に満ちた産業のまち
- 第5章 未来への基盤が整ったまち
- 第6章 みんなでつくる自立したまち

策定の経過

令和元年

7月～8月
町民アンケート調査

20歳以上の町民、2000人を無作為に抽出、有効回収数1005人、50・3%の回収率

12月21日

庄内町の幸福を考える町民ワークショップ

響ホール(参加者26人)基調講演・グループワーク

令和2年

8月31日

第2次総合計画後期基本計画策定調整会議

9月7日～9月29日

振興審議会

全体会

総務分科会

文教厚生分科会
産業建設分科会
分科会会長会

10月5日

振興審議会答申

10月15日～11月13日
パブリックコメントの実施

議会での経過

令和2年

12月8日

第2次庄内町総合計画後期基本計画審査特別委員会の設置

12月9日

特別委員会

委員長、副委員長の選任

委員長 小林清悟
副委員長 國分浩実

分科会の設置、審査事項の決定、日程調整等

12月14日
特別委員会全体会

今後の予定

令和2年12月14日の特別委員会全体会以降、第1分科会(総務文教厚生常任委員会所管)、第2分科会(産業建設常任委員会所管)において各担当課等へのヒアリングを行うなどして審査し、令和3年3月定例会で議決される予定となっております。
町議会ホームページでも今後公開される予定です。

生声ひろば

明日はおたのしみ会
狩川幼稚園



先生もいっしょで楽しい

笑顔がかわいらしい子やぎさんたち

年の瀬も迫る12月21日に狩川幼稚園を訪問しました。外は大雪になりました。翌日は年一回の「おたのしみ会」です。年長さん(24人)は「とんがり山の大魔人」、年中さん(14人)は「おおかみと6ひきのこやぎ」です。笑顔のかわいい子やぎさんたちは、本番に備えて一回だけのマスクを取っての練習です。

問

新型コロナウイルス対策で初めて保護者なしの園児と先生だけの「おたのしみ会」になるそうですが、どうですか。

答

子どもたちのがんばりや成長を保護者の方たちに、ここでお見せできないのはとても残念です。それでも、子どもたちの発表の場ができたことはよかったです。

練習が終わり、子どもたちは先生と一緒に元気に雪遊びです。コロナ禍でも強い志と深い愛情で、わが子のように接している先生たちに、感謝の気持ちでいっぱいです。



議場に彩り

庄内町花き振興会より議場内、議場前ロビーなどに花きを提供していただきました。



見事に映える

議場内の緊張感につつまれた雰囲気の中に彩りが添えられました。傍聴に訪れた町民のみなさんにも大変好評でした。

お詫びと訂正

令和2年10月15日号「生声ひろば」の中で、氏名に誤りがありました。

白崎乃依さんは、正しくは白崎乃衣さんです。お詫びして訂正します。



議長 茂吉 宮

新年明けましておめでとうございます。気持ちも新たに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスに対する、ニュースが初めて流れたのは昨年一月上旬のことです。またたく間に世界各国に感染が広がり、拡大を防ぐためロックダウンや入国制限を導入したことから、人とモノの移動が停滞し、経済に深刻な打撃を与えています。新型コロナウイルスは災害であり、その対策に災害対策基本法の考え方を適用出来るとの認識で当局と一体で危機に取り組んでいかなければなりません。必要なときに必要な人へ、必要な支援をするために、個々人の環境や事情を配慮して、財政的組織的、技術



的な支援をするのが、災害時における、我々基礎自治体の責務です。2点目は、昨年六月に報告のあった、なり手不足解消調査特別委員会より報告のあった事項について具現化していきま。女性議員の出やすい環境づくり、お金のかららない選挙の実施など八項目にわたる意見がありました。立候補しやすい環境づくりに取り組んで参ります。結びに町民の皆さまにとって、充実した一年となることをご祈念申し上げます。

| | |
|-----------|-------|
| 議長 | 吉宮 茂 |
| 議会広報常任委員会 | 国分 浩実 |
| 委員長 | 澁谷 勇悦 |
| 副委員長 | 鎌田 準一 |
| 委員 | 加藤 将展 |
| 委員 | 阿部 利勝 |
| 委員 | 堀 幸朗 |